

月刊 セキュリティ研究

地検高検から国連部長まで検察一筋40年の眼

財団法人 アジア刑政財団 理事長 **敷田 稔**

「脳のきれいな母親」が社会を正すキーワード

犯罪学者 **北芝 健**

特集

2006年 注目の危機管理プロダクト

2006 **11**
Security
Specialist
Association

アイ・ティー・エス アクチュアリー エヴァーフォーカスジャパン
スタンダード スーパーセキュリティーソリューションズ
スリーディー 竹中エンジニアリング タノック タムロン
ティービーアイ 三井物産エアロスペース 三菱電機

注目の企業紹介 株式会社 サンテ・コーポレーション

Info

特定非営利活動法人 **NBCR対策推進機構**
特定非営利活動法人 **日本情報安全管理協会**
特定非営利活動法人 **日本防犯学校**
American Society for Industrial Security

連載

ニーモニクNEWS
情報セキュリティの話
ザ・ボディーガード

巻末
特集

セキュリティ業界有力企業一覧

情報セキュリティ対策における 盗聴探査の重要性

特定非営利活動法人
日本情報安全管理協会
業務推進部課長代理 菅原 哲

情報セキュリティの意義と必要事項

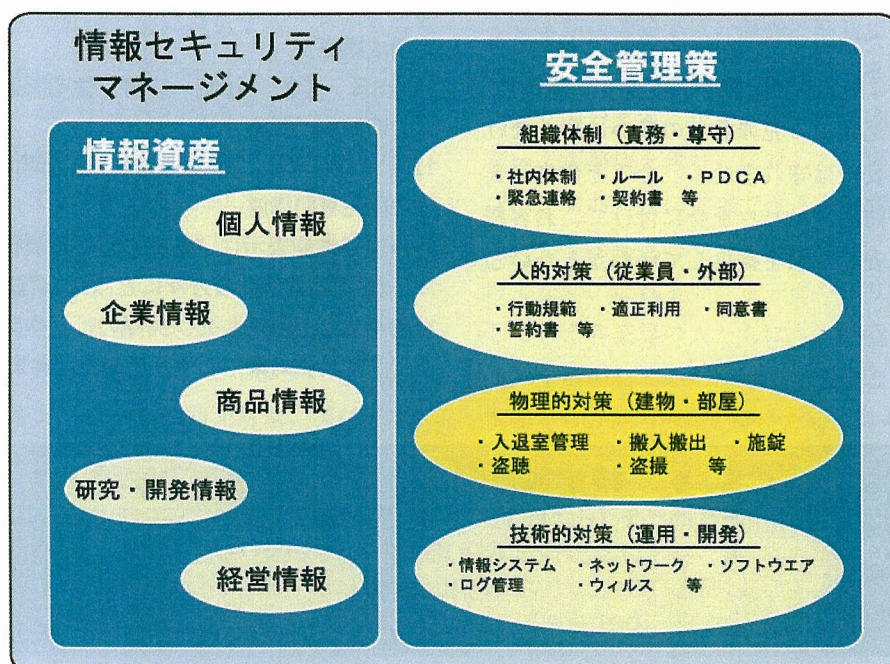
個人情報保護法等、情報漏洩に対する法整備が進む中で、企業においても情報漏洩に対する危機意識が強くなってきております。企業において情報セキュリティを確保するということは、「高信頼企業の実現」、「企業価値の向上」、「コンプライアンスの遵守」につながる為、企業内で情報セキュリティマネジメントを構築し、ISMS認証制度やPマークの取得等、情報資産を守る為の努力がなされております。これまで企業の情報セキュリティ管理はハッキング等のネットワーク情報セキュリティ対策、内部機密情報や技術情報の人を介しての漏洩、盗聴・盗撮機器設置による情報漏洩対策等、個々の問題へのソリューションを中心に行われてきました。しかし、最近ではこうした個々のソリューションだけでは複雑化し高度化する機密情報流出に対応できないことが認識されつつあります。

企業において重要な情報は個人情報だけではなく、新商品の研究開発や経営情報等、様々なものがあります。これらの情報資産を守る為に、安全管理策が講じられているのです。安全管理策は、例えば「組織・体制の確立」、従業員・外部に対する「人的対策」、

情報システムの開発・運用等の「技術的対策」、入退室管理等の「物理的対策」等があります。様々な視点からの対策を統合することにより全体的な情報セキュリティマネジメントを構築しなければ、セキュリティ対策の弱い部分から情報が漏洩してしまい、セキュリティ対策として機能しなくなってしまうのです。全てが統合的に機能して、はじめてセキュリティ対策の脆弱性を減少させ、脅威から保護し、情報セキュリティに関してのインシデントの影響を抑制し、復旧を早めることができるのです。しかし、欧米企業と比較し日本企業のセキュリティ対策は、まだまだ甘いと言わざるを得ません。

企業における情報セキュリティ対策と盗聴探査の必要性

日本企業における情報セキュリティ対策は、情報システムやネットワークへの対応に偏っており、盗聴・盗撮対策を含む物理的な面での情報セキュリティ対策は手薄になっています。情報セキュリティ対策についての統合的なアプローチがなされている企業はまだ多くないと言えます。しかし、企業の情報セキュリティ対策は統合的な対策がなされなければ



意味がありません。産業スパイ等の諜報員が最も簡単にリアルタイムで情報を盗み取る手段は盗聴が主体である為、システム上の対策だけでは情報を守ることはできないのです。欧米では盗聴対策も視野に入れた物理的対策がなされており、定期的に盗聴探査が行われております。ネットワークの情報セキュリティ対策がいかに完璧であっても、人から人へもれていく情報を未然に防ぐことはできませんし、最新の盗聴機器を駆使した情報漏洩を防ぐことはできません。盗聴器の技術は急速に進んでいるのです。すなわち、日本における一般的な盗聴調査事業者の技術で発見できる盗聴器ではないということが、当協会の通信傍受対策研究部門により結論付けられています。

また、人を介しての情報の漏洩も企業においては頻発しています。情報漏洩の8割は内部の者が関わっているとされている為、外部に対する入退室管理等の物理的対策だけでは情報セキュリティ対策としては不十分であり、内部に対する物理的対策と組み合わせることが重要なのです。例えばゾーニングや入退室管理等の外部に対するセキュリティと、盗

聴探査等の内部に対するセキュリティ対策を組み合わせ、セキュリティ対策全体で考えた場合に、より高いレベルの物理的対策になる様、セキュリティ対策を組んでいかなければなりません。この面からも情報セキュリティ対策において盗聴探査は重要な項目であると言えます。

経済のグローバル化が進む中で、海外企業の日本進出や日本企業の海外進出と同時に、高度な技術を持った産業スパイ等の諜報員が日本企業にも進出してきております。気付かないうちに情報が盗まれている時代なのです。企業の機密情報漏洩は計り知れない損害を生むと同時に、信用を低下させ、企業の存続にも関わる大きな問題になるのです。このようなリスクを回避し、企業価値を向上させ、高い信用を得る企業を目指す為、また日本企業がグローバルな競争に勝ち残っていく為には、日本企業も欧米諸国と同様の危機管理意識を持ち、セキュリティ対策を講じていかなければならないのです。

当協会としても、情報セキュリティ対策の面から日本企業の発展、また日本経済の発展に貢献できる様、より一層の努力が必要だと感じております。



会員募集のご案内

当協会は、社会を明るくするために(犯罪防止・抑止)一層を担うNPO法人です。現代における情報安全管理のモラルアップと一般市民、企業の安心・安全に付し、真に信頼される「情報セキュリティ(情報の安全管理)」の母体としての役割を持つべく活動を展開しています。国際的な水準の情報セキュリティの枠組みをより上げるため、日夜、情報安全管理に関する技術研究・開発を進めております。情報安全管理士などの資格認定試験や情報セキュリティ(情報の安全管理)のセミナー、フォーラムを開催し、啓蒙・啓発活動を行っております。

◆ 会員特典

- ☆ 当協会主催の資格試験受験・研修・講演会・シンポジウムへの会員価格による特別優待
- ☆ 情報セキュリティ(企業・個人)に関する相談が特別価格で受けられる。
- ☆ 「情報安全管理」等の資料提供
- ☆ 情報漏洩関連における技術開発等の資料を公開
- ☆ 当協会による情報管理専門分野への業務時給、派遣等を通じての啓蒙・啓発活動による社会貢献、社会参加の機会提供

◆ 入会方法

入会を希望の場合は、「入会申込書」を協会事務局宛にFAX、郵送にて御提出ください。詳しくは下記事務局までお問い合わせください。

◆ 入会金・年会費

	入会金	年会費
個人会員	10,000円	12,000円
法人会員	20,000円	36,000円

◆ お問い合わせ・お申し込み

特定非営利活動法人(NPO法人)
日本情報安全管理協会(JILCoM)事務局

〒108-0073 東京都港区三田2丁目14番6号712
TEL: 03-5765-7677 FAX: 03-5765-3181
URL: <http://www.jilcom.or.jp>
E-mail: jilcom@loros.ocn.ne.jp

本コーナーの
お問い合わせは

特定非営利活動法人：日本情報安全管理協会 事務局

〒108-0073 東京都港区三田2-14-5 7F

TEL: 03-5765-7677 FAX: 03-5765-3181

URL: <http://www.jilcom.or.jp>